

G-scan 3 診断データ作成手順

1. 車両診断を選択する



2. 該当するメーカーを選択する (ここではトヨタを選択した例でおこなう)



3. 該当する車両情報を選択する（ここでは車種選択、レジアスエースバン、KDH206V、1KD-FTV、'07.08～'08.08（H19.08～H20.08））



4. システムを選択する（ここではパワートレイン、TCCS）



5. 実行を押す



6. 診断メニューが表示されたら、自己診断を押す



7. 自己診断結果が表示されたらレポート作成を押す

	故障コード	故障コード系統名(1/51)	状態
F2 モード	P00AF	VNモードライン系統異常	↑
F3 消去	P00B4	ラジエータ水温センサ系統(High)	🔍
F4 リーズフレーム	P0102	E770メータ断線(Low)	🔍
	P0107	圧力センサ系統(Low)	🔍
	P0113	吸気温センサ系統(High)	🔍
F7 レポート作成	P0118	水温センサ断線(High)	🔍
	P0122	スロットルセンサ断線(Low)	🔍
	P0183	・CNG車のとき 高圧側ガス温センサ(High) ・ディーゼル車のとき 燃温センサ信号系統(High)	🔍
	P0193	・CNG車のとき 高圧側ガス圧センサ(High) ・その他の車両のとき 燃圧システム異常(High)	🔍
F11 データ表示	P0405	EGRリフトセンサ系統(Low)	🔍
F12 アクティブテスト	P0477	排気絞りVSV断線(Low)	🔍
	P0504	STPランプ SW系統	🔍

8. 診断レポート表示画面に切り替わったら新レポート作成を押す

診断レポート表示					
+ 新レポート作成					
VOLKSWAGE N 8月-08-2019 14:50:20	システム選択(乗用車)/オートルギス/共通システム 顧客名 --- VIN WWWZZZ16ZJM721024 ナンバープレート ---	修理前スキャン結果 8月-08-2019 14:50:11 上書き	修理後スキャン結果 未保存 追加	コメント/添付 未保存 編集	✕ ▼
スズキ 8月-08-2019 13:34:18	車種選択/スズキ/7/MK53S/R06A(N・A)/17.12~ (H29.12~) 顧客名 --- VIN --- ナンバープレート ---	修理前スキャン結果 8月-08-2019 13:34:13 上書き	修理後スキャン結果 未保存 追加	コメント/添付 未保存 編集	✕ ▼
スズキ 8月-08-2019 13:03:23	車種選択/スズキ/WB32S/K12C(N・A)/16.03~ (H28.03~) 顧客名 --- VIN --- ナンバープレート ---	修理前スキャン結果 8月-08-2019 13:03:00 上書き	修理後スキャン結果 未保存 追加	コメント/添付 未保存 編集	✕ ▼

9. 必要な情報を入力する

12.2V

100% 16:49

車両診断レポート

車両名
7/車種選択/レジアスエース/KDH206K/1KD-FTV/07.08~08.08(H19.08~H20.08)/H ワイドレイン/TCCS

会社情報	顧客情報
会社名 株式会社インターサポート	顧客名
住所 茨城県水戸市城南1-6-39	ナンバープレート
整備士名 坂本 将樹	VIN
電話番号 0293038021	年式
ファクス	トヨタメーター
Eメール sakamoto@inter-support	車両型式

自動読取

保存

10. 保存を押す

11.9V

100% 11:23

車両診断レポート

車両名
レジアスエースバン

会社情報	顧客情報
会社名 株式会社インターサポート	顧客名 水戸 太郎 様
住所 茨城県水戸市城南1-6-39	ナンバープレート 水戸100あ5614
整備士名 坂本 将樹	VIN KDH206-114329
電話番号 0293038021	年式 平成20.09
ファクス 0293038022	トヨタメーター 112543.7
Eメール sakamoto@inter-support.jp	車両型式 ADF-KDH206V

自動読取

保存

1 1. 修理前スキャン結果の追加を押す



1 2. 保存しますか?と表示されるのでOKを選択する



1 3. 保存完了のメッセージを確認してOKを押す



1 4. 作成したレポートの空いているスペースをタッチする



15. PDFとして保存を押す



16. 修理前スキャン結果にチェックがあることを確認して保存を押す



17. OK を押せば完了



CSV データ抽出方法

1. Micro SD カードなど外部メモリを G-scan 3 に接続する、挿入したら画面上部に SD カードのマークが表示されるのを確認する



2. 画面上部を画面下側にスワイプして接続した SD カードが使用できるか確認する



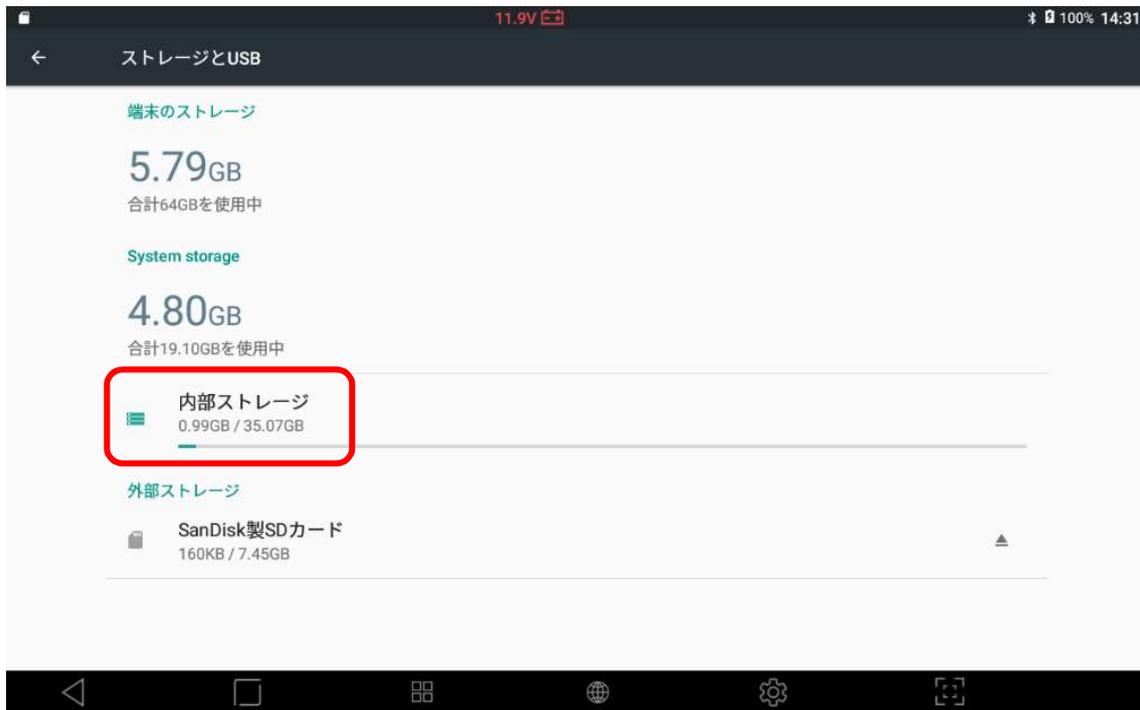
3. 設定ボタンを押す



4. ストレージと USB を押す



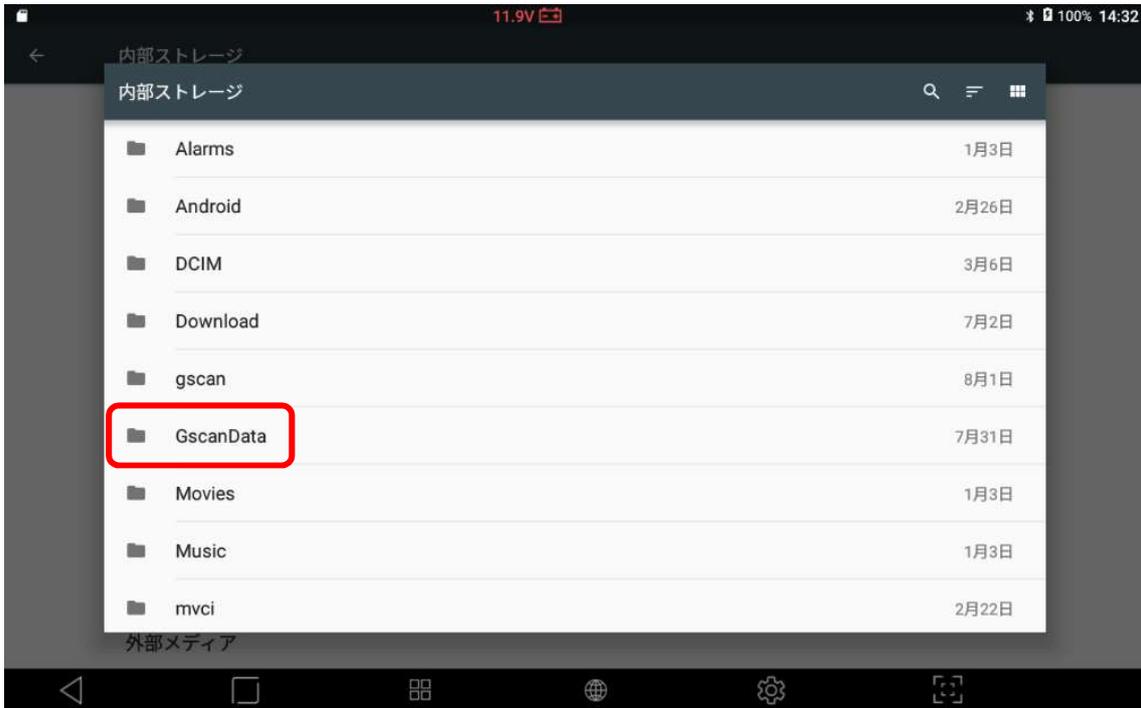
5. 内部ストレージを押す



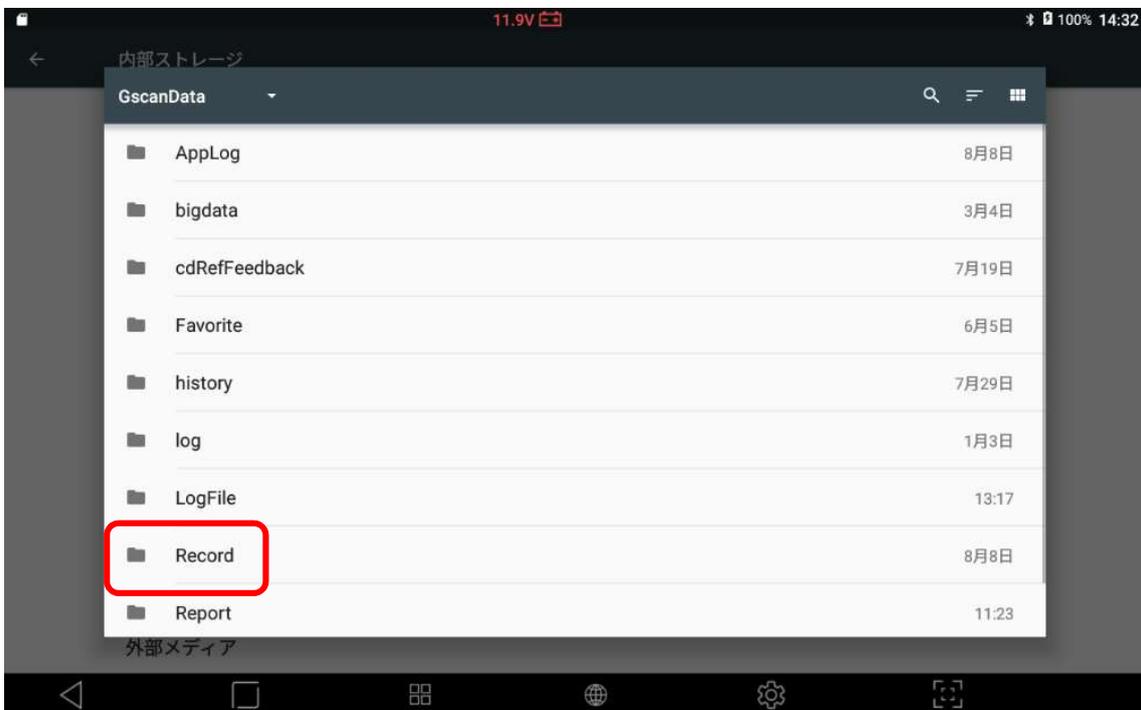
6. 画面を下にスクロールして外部メディアを押す



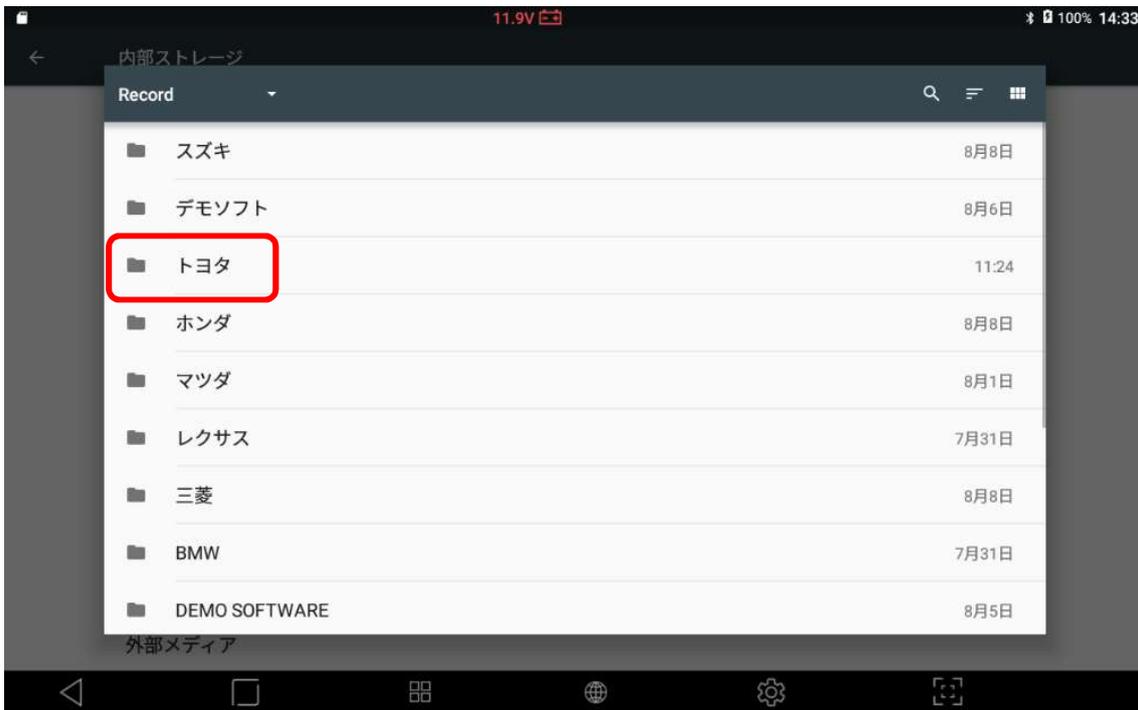
7. GscanData を押す



8. Record を押す



9. 診断データを作成したメーカーを選択する（ここではトヨタを選択した例でおこなう）

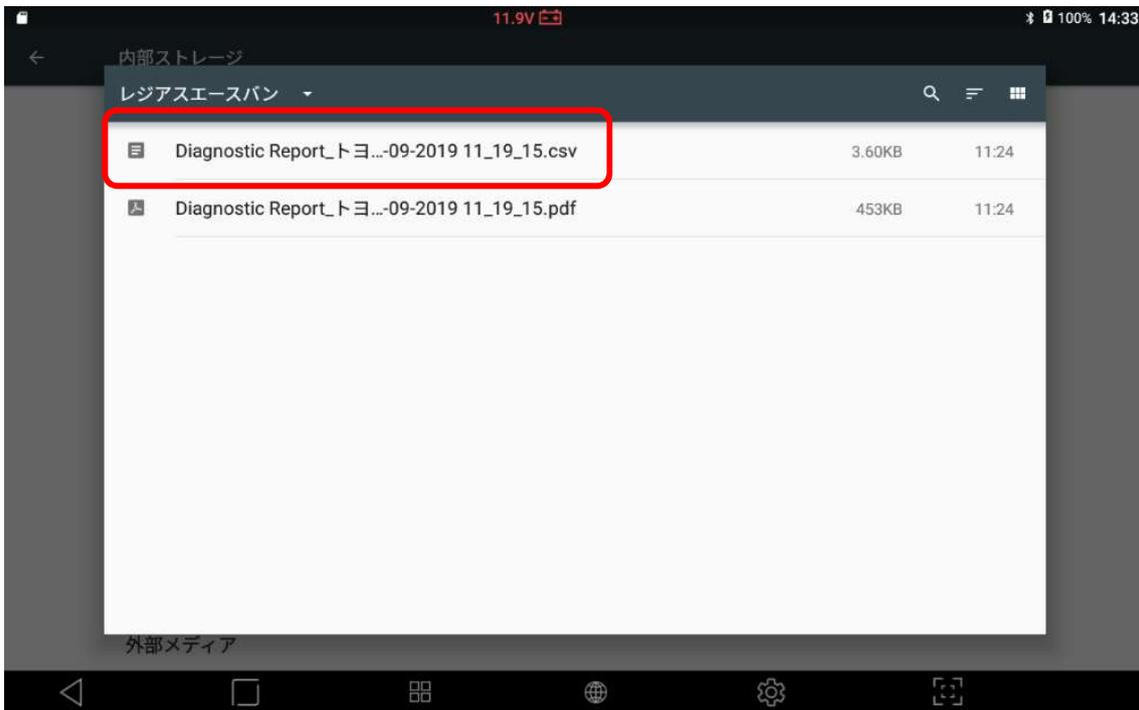


10. 該当する車種名を選択する（ここではレジアスエースバンが該当）

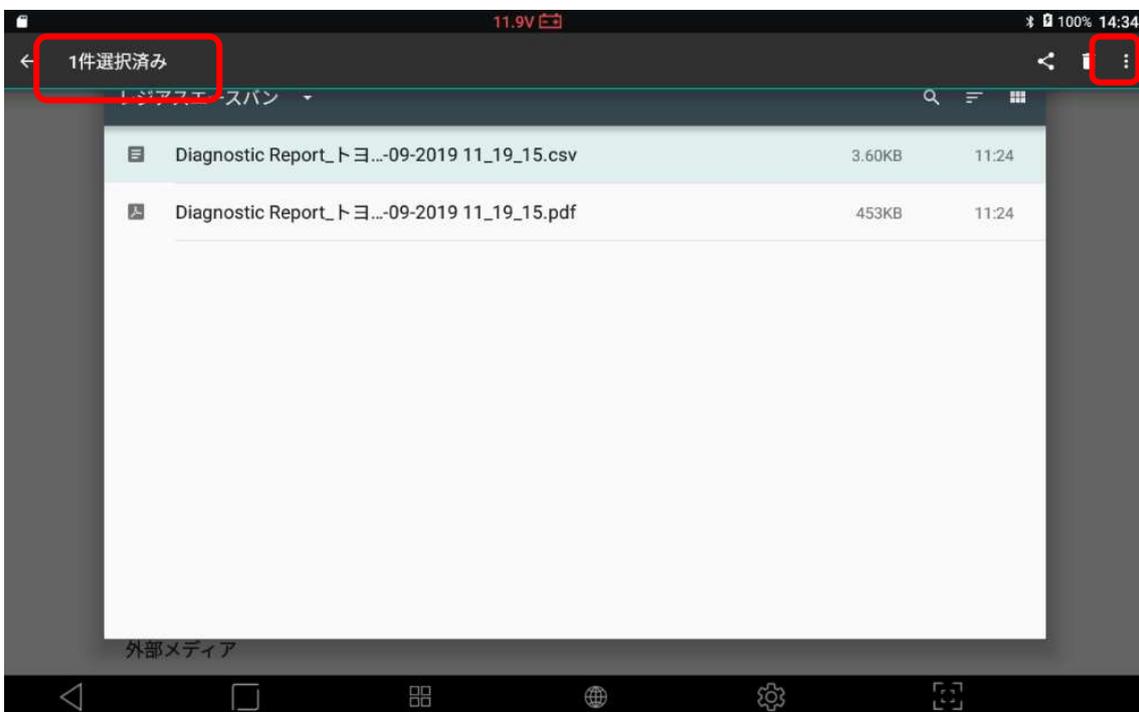
※ 車種名に則ってフォルダが作成されるので、車種名を変更した場合は注意必要



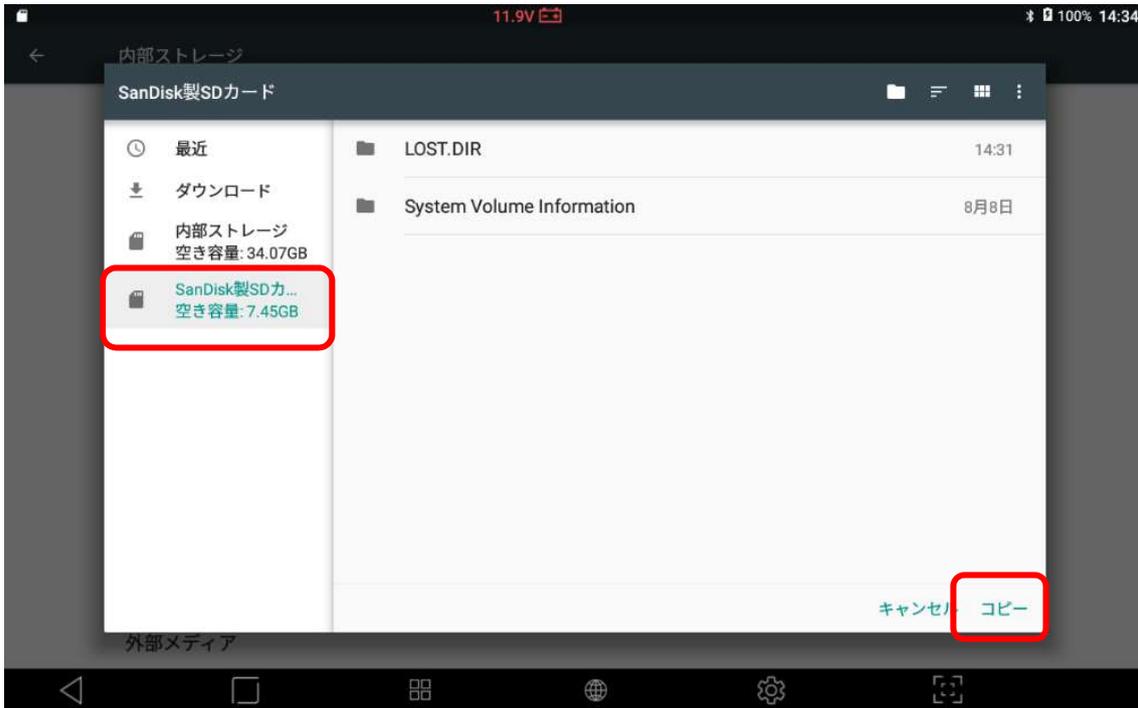
1 1. CSV ファイルを 2 秒以上タッチする



1 2. 1 件選択済みと表示されたら画面右上のボタンを押してコピーを押す



13. 保存先がSDカードになっていることを確認して画面右下のコピーを押す



抽出完了

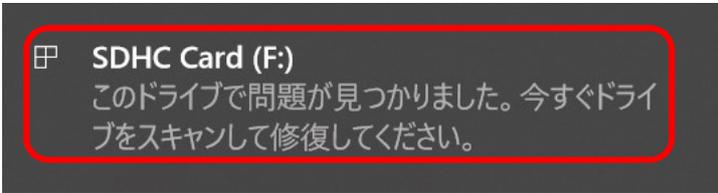
※2. のように画面上部を下部にスワイプ、SDカードの取り出しを選択してから取り出す

《注意事項》

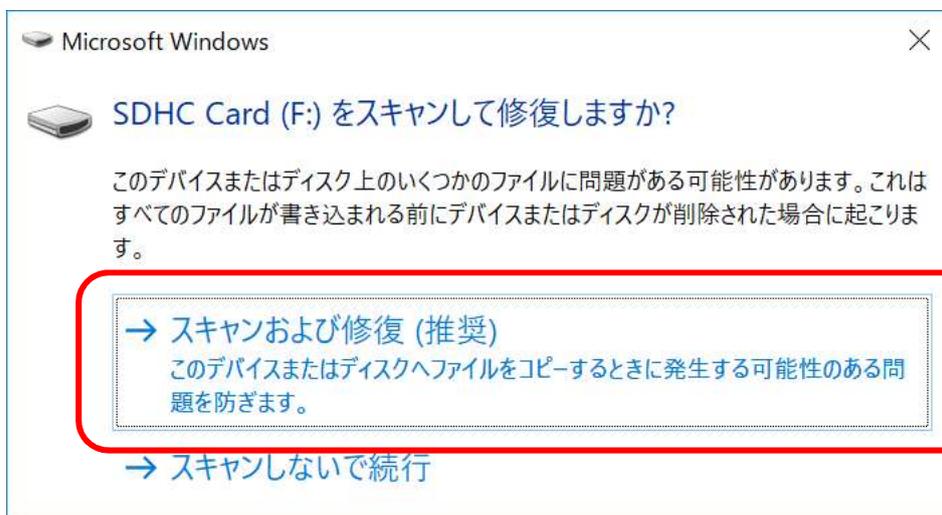
- ・ G-scan 3 では CSV ファイルを開くことができない。
- ・ Windows の PC に SD カードを接続したときに「このドライブで問題が見つかりました」と表示される。これは G-scan 3 が Android OS を使用していることから OS が異なることによって発生している事項になります。実際に SD カード等が壊れているわけではありません。

<Windows 10 の場合>

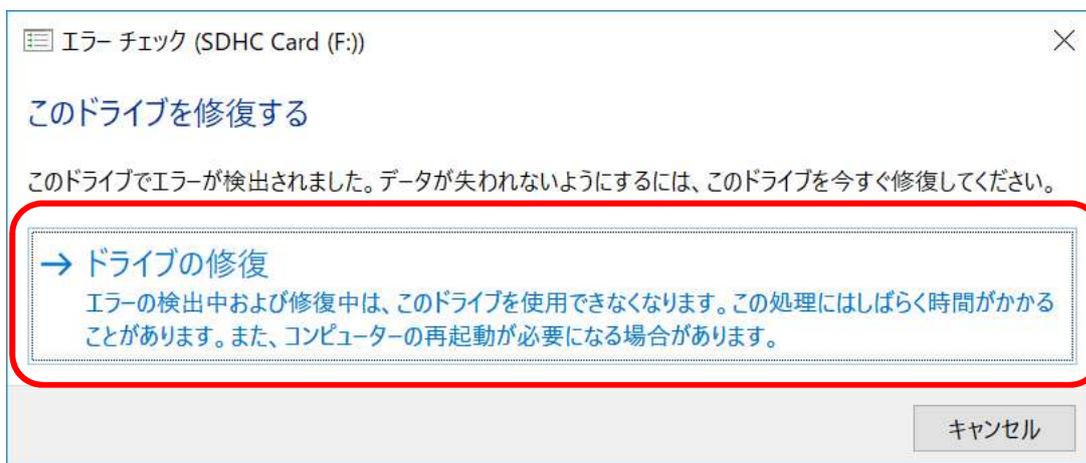
1. 問題が見つかりましたと表示されたらその枠を押す



2. 下記の様に表示されたら、スキャンおよび修復を押す



3. 下記の様に表示されたらドライブの修復を押す



4. 完了メッセージが表示されたら閉じるボタンを押す



5. CSV ファイルを確認できるようになる

